

地域防災力の向上に向けて

災害（大雨、洪水、地震）は必ず発生します。もしかすると、明日発生するかもしれません。将来予想される大規模な災害に対応するためには、自助・共助・公助の取り組みとともに、地域の防災力を向上させていくことが重要です。

「災害を知る」「まちを知る」「人を知る」

■災害をイメージして、日常から自分で対策を考えることが大切です。

1. 災害を知る

「どれくらいの規模で、どのような災害の発生が予想されるか」

2. まちを知る

「災害時に安全な場所、危険な場所はどこにあるのか」

「何かあった場合にお世話になる場所や施設はどこにあるのか」

3. 人を知る

「いざという時に頼りになる人はどこにいるのか」

「近所に手助けが必要な人はいないか」



「自助」「共助」「公助」

■災害の被害を軽減するためには、「自助・共助・公助」連携が不可欠です。

1. 自助

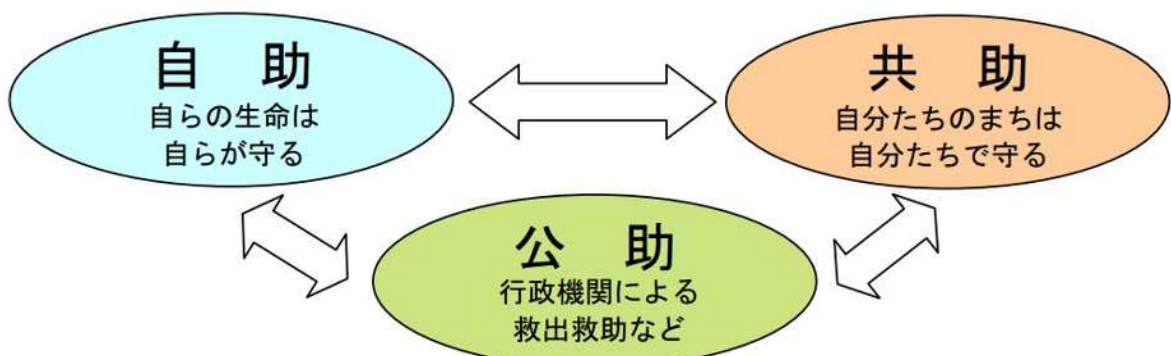
「自らの安全は、自らが守る」これが、防災の基本です。

2. 共助

近所の人たちと協力して、お互いに助け合うこと。

3. 公助

役場・警察・消防といった行政機関が取り組むこと。



それぞれが、災害対応力を高め、連携することが重要

**地域防災力を高めることが、災害に強い地域を作る事に
つながり、一人でも多くの命を救うことにつながります。**